

岡山市の財政状況

2013年10月28日 合同IR 説明会資料



目 次

i	岡山市のすがた	・・・2	iv	めざす都市像	・・・18
■	岡山市の概要		■	都市ビジョン『新・岡山市総合計画』	
■	都市機能		■	平成25年度一般会計当初予算	
■	利便性に優れた暮らしやすい街				
■	岡山市の人口、将来推計人口		v	市債発行の方針	・・・22
ii	行財政改革	・・・9	■	今後の起債運営	
■	行財政改革の目標		■	市場公募地方債の発行	
■	これまでの行財政改革				
iii	財政状況	・・・11			
■	平成24年度普通会計決算				
■	職員数の削減と適正化				
■	市全体の借金				
■	財政指標の推移				
■	健全化判断比率等は基準をクリア				
■	他都市との比較においても良好な指標				

岡山市の概要①

■ 人口

704,025人(H25.9末現在)【住民基本台帳人口】

■ 面積

789.92km²

■ 自然

旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置
南部は地味豊かな沃野、北部は吉備高原につながる山並み

■ 気候

温暖な瀬戸内海特有の風土
快晴の日が多く、台風や雪の影響が少ない

■ 名産

「果物王国」岡山市は、マスカット・白桃などの果物が揃い、南部の瀬戸内海では鱈やママカリなどの海の幸が育まれます

岡山市の概要②

■ 晴れの国おかやま

降水量1ミリ未満の日が日本一多く「晴れの国」と言われています

■ 良質な水

水量豊富な河川が市内を流れているため水不足になることはなく、岡山市の水道水は、安全でおいしい水として知られています



■ 少ない地震

岡山は国内でも地震の少ない地域であり、過去に起きた地震回数は全国平均の3,176回と比べ778回となっています

降水量1mm未満の日の平年値（1981-2010）



気象庁 HP より

過去50年間（1963-2012）の地震回数



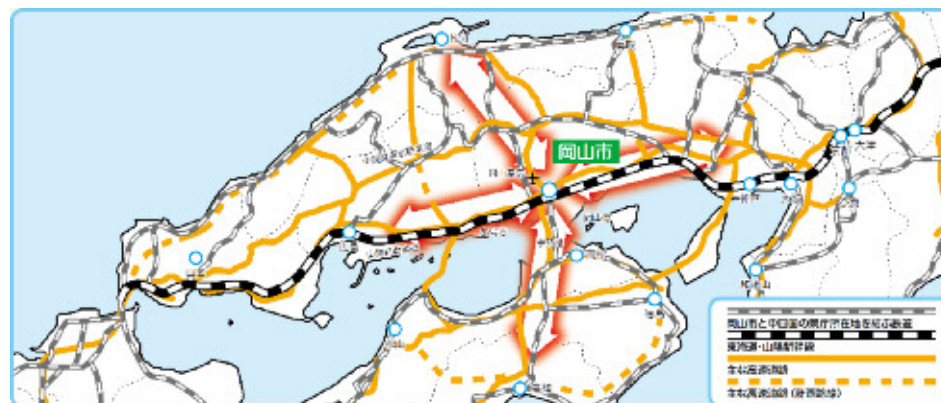
気象庁 HP より

都市機能①

中四国地方の交通の要衝

鉄 道

JR岡山駅には、すべての新幹線が停車し、東京(3時間12分)、名古屋(1時間36分)、大阪(44分)、福岡(1時間40分)等主要都市からのアクセスに優れています。また、在来線も7路線が乗り入れ、岡山駅は四国方面、山陰方面への玄関口となっています。



高速道路

西日本を東西に貫く山陽自動車道と、日本海から太平洋に至る中国横断自動車道・瀬戸中央自動車道が交差しています。

空 港

岡山空港には、国内3路線(東京、札幌、那覇)、国際4路線(ソウル、上海、台北、グアム)が就航しています。また、市内中心部から空港までは車で25分の距離にあり、約2,900台の無料駐車場を完備しています。



岡山駅前桃太郎像



都市機能②

医療・福祉、学術・研究の分野で高い都市機能の集積

岡山市は、病院数、医師数などの医療基盤が充実しており、医療技術の面でも、臓器移植や遺伝子治療に代表される先進的な医療技術は世界に注目されています

病院数（一般病床を有する）（政令指定都市間での比較）

第4位

人口10万人あたり6.2施設
（厚生労働省「平成23年医療施設調査」より）

医師数（政令指定都市間での比較）

第3位

人口10万人あたり379.0人
（厚生労働省「平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査」より）



新市民病院外観イメージ（H27開業予定）

病院数（一般病床を有する）



厚生労働省「平成23年医療施設調査」より

利便性に優れた暮らしやすい街

住みやすい生活環境

政令指定都市で
比較して

- | | |
|---------------|---------------------|
| ■ 保育園数 | 第5位 (人口10万人あたり) |
| ■ 幼稚園数 | 第2位 (人口10万人あたり) |
| ■ 大学生・短大生数 | 第6位 (人口10万人あたり) |
| ■ 文化施設数 | 第3位 (人口10万人あたり) |
| ■ 都市公園面積 | 第2位 (都市計画区域人口1人あたり) |
| ■ 家賃(民営借家)の安さ | 第6位 |
| ■ 平均通勤時間の短さ | 第5位 |
| ■ 百貨店・総合スーパー数 | 第3位 (人口10万人あたり) |

※経済産業省「商業統計調査」などによる



シティミュージアム



吉備津神社

自転車先進都市

岡山市内は平地が多く、自転車に適した地形であり、市内中心部ではコミュニティサイクル「ももちやり」が利用できます



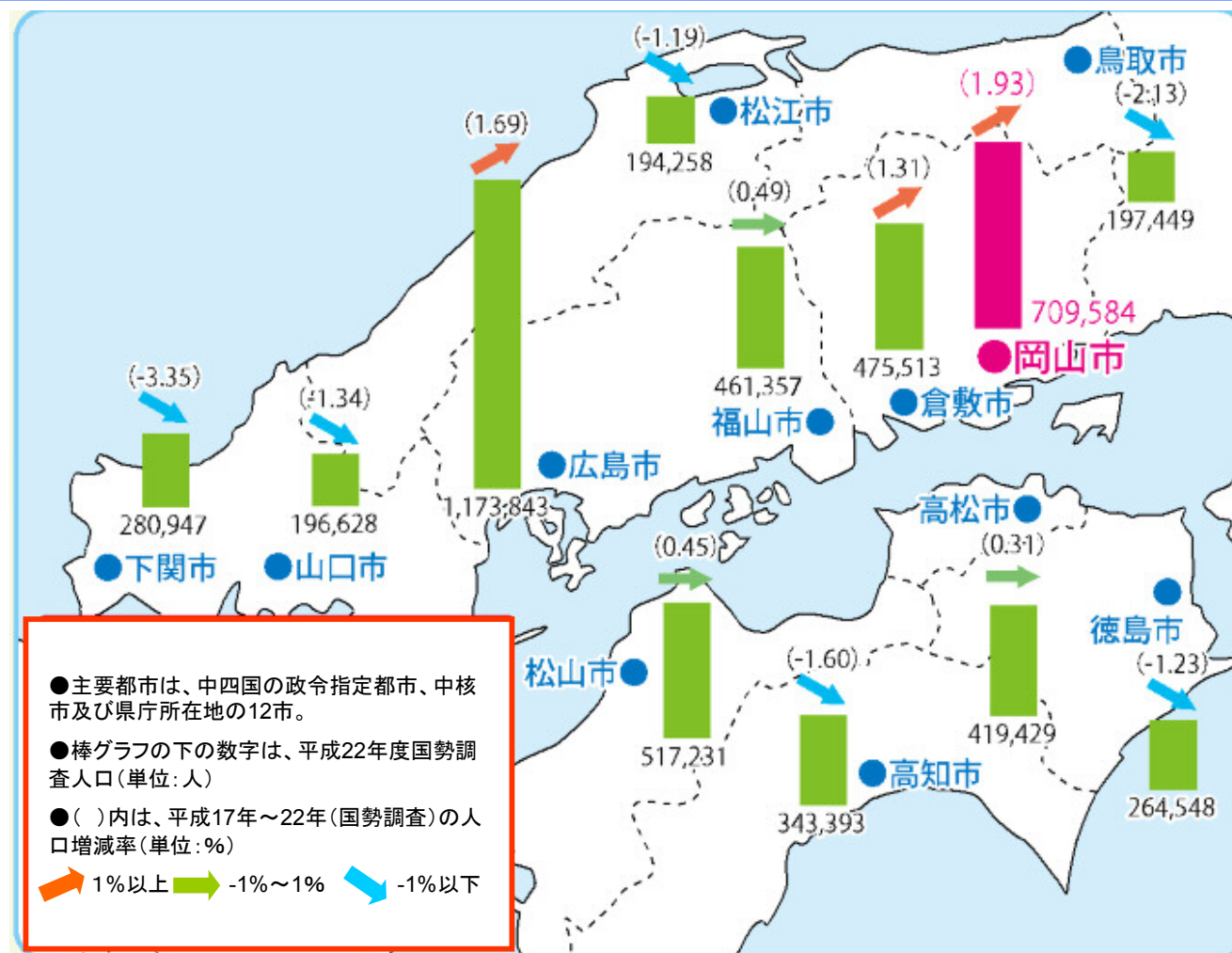
自転車レーン



「ももちやり」

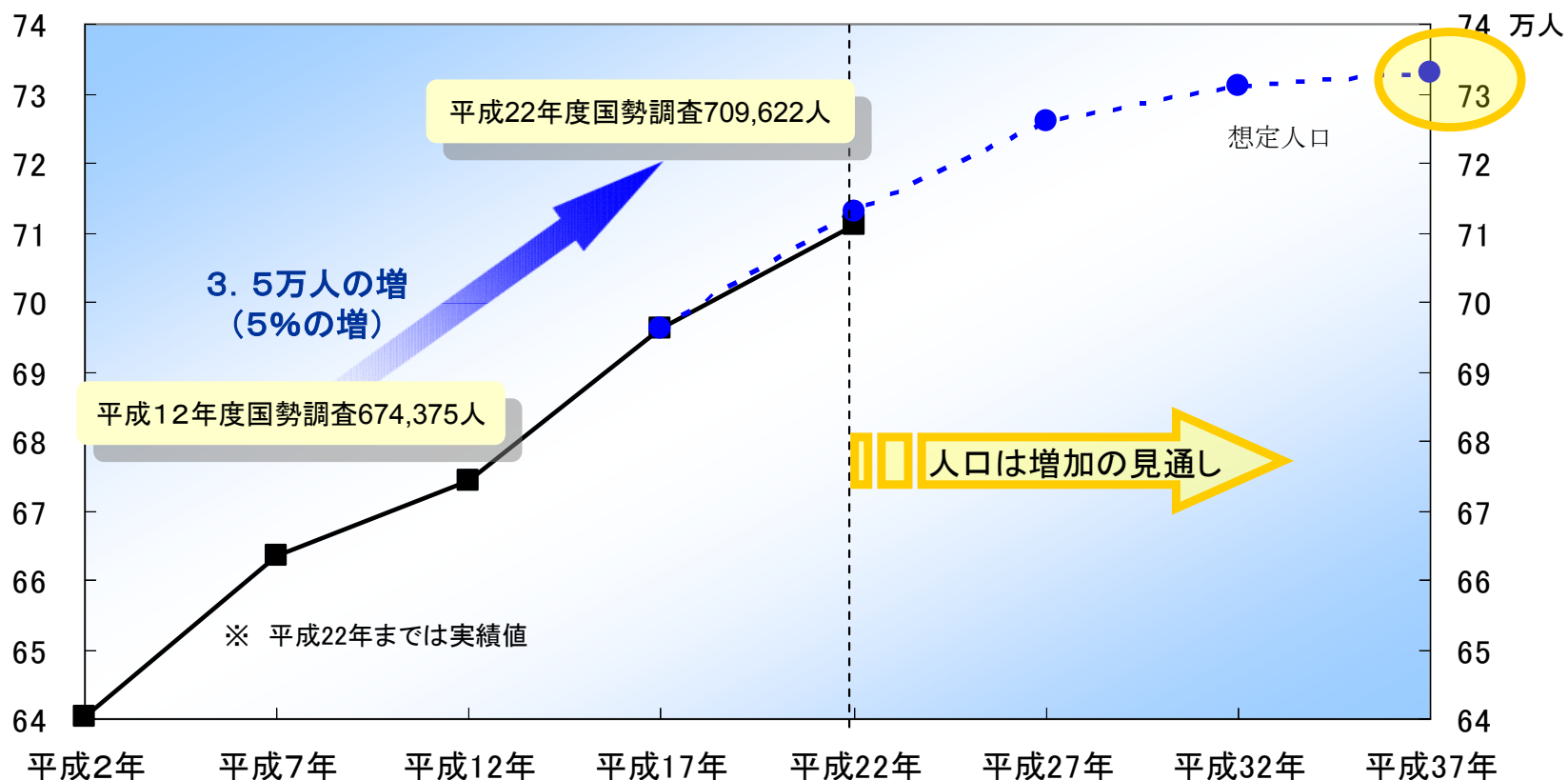
岡山市の人口

岡山市の人口は70万人を超え、さらに増加しています
～中四国主要都市の中で一番高い人口増加率～



将来推計人口

- 平成37年には73万人の見通し
- 平成12年から平成22年までの10年間で3.5万人の増



* 想定人口は、コーホート要因法を用いて算出した推計人口に都市型サービス産業の一層の集積による社会増などを見込み算出したもの

行財政改革の目標

■ 平成27年度までに財政的・人事的指標を目標水準へ

H17当時、借金総額約7千億円

危機意識から、**行財政改革の断行**に着手!!

長期計画編(H17~28)の目標

短期計画編(H17~20)で改革実施済

新・短期計画編(H21~26)の改革実施中

年 度	H17決算	H22目標値 (決算)	H27目標値 (決算)
経常収支比率	94.1%	-	政令指定都市 上位程度
実質公債費比率	21.2%	16%程度	12%程度
人件費比率	20.6%	18%台	17%台

- H27.4月までの定員管理の目標
- 事業の選択と集中による市債借入額の抑制
- 市民事業仕分けによる改革事項
- 庁内事業仕分けによる取組等

財政効果額の目標は約170億円

行財政改革を引き続き推進し、ムダのない効率的な行政を実現

これまでの行財政改革

- H19年度から3年間の職員採用凍結を断行
- 『行政サービス棚卸し』を実施し、全ての事務事業の必要性を見直し
- 行財政改革にかかる財政効果額 約370億円

短期計画編の取組による財政効果

区 分	期 間	財政効果額
目 標	H17～H21	約200億円
実 績	H17～H20	約245億円

事務事業の見直し 29億円
 民間活力の積極的活用 8億円
 定員及び人事管理の適正化 56億円
 給与・手当等の適正化 9億円
 経費節減等の財政効果 36億円
 市税徴収率の向上 20億円
 投資的経費の縮減 87億円

財政効果額を1年前倒しで達成

新・短期計画編の取組による財政効果

区 分	期 間	財政効果額
目 標	H21～H26	約170億円
実 績	H21～H24	約125億円

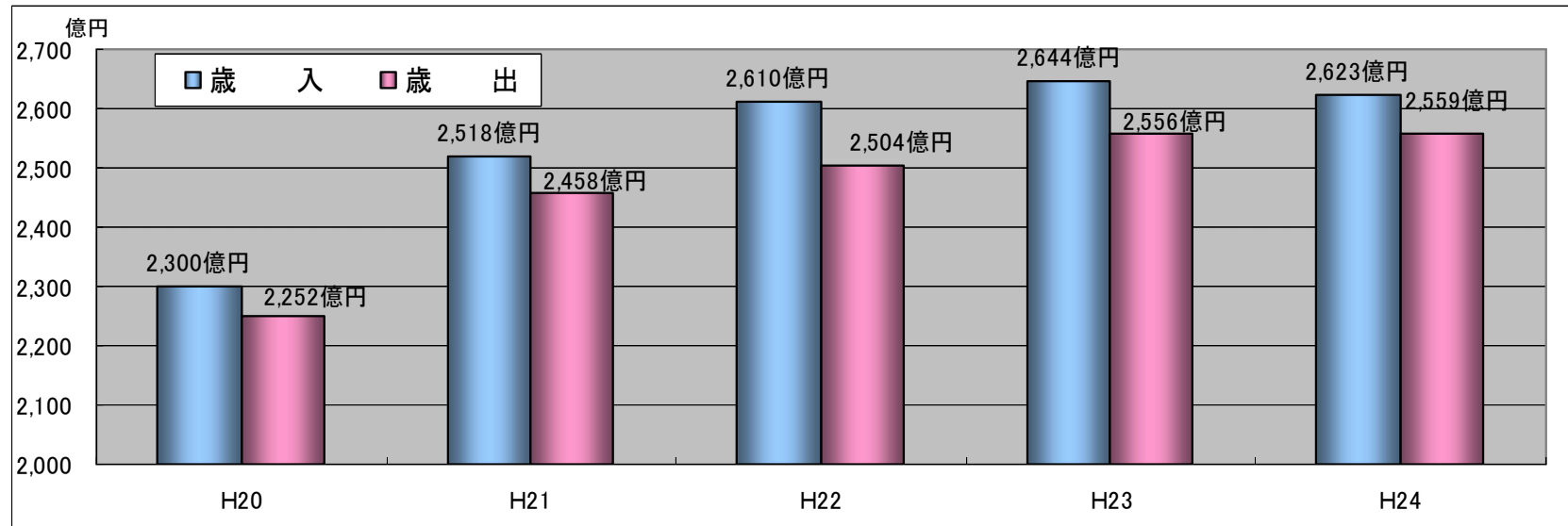
事務事業の見直し 48億円
 民間活力の積極的活用 4億円
 定員及び人事管理の適正化 14億円
 給与・手当等の適正化 17億円
 経費節減等の財政効果 42億円

取組内容の見直し等を行い、
改革事項の深化を図る

平成24年度普通会計決算

■ 実質収支は黒字を継続中

歳入歳出決算の推移

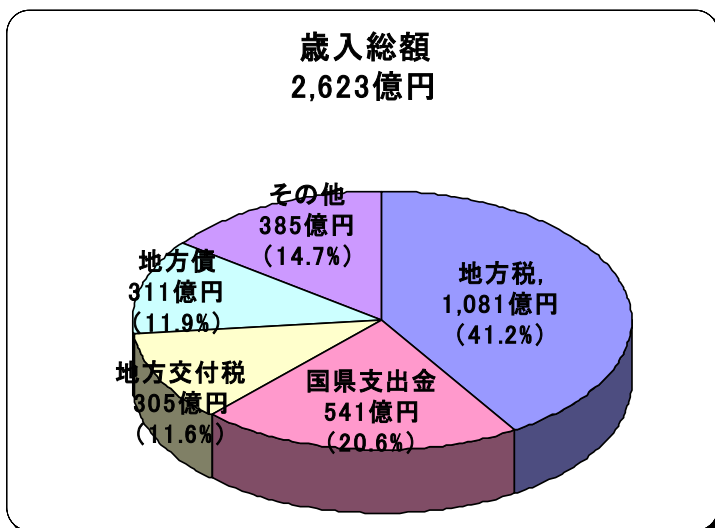


(単位: 百万円)

	H20	H21	H22	H23	H24
歳入	229,990	251,846	261,039	264,434	262,293
歳出	225,169	245,769	250,364	255,594	255,930
形式的収支	4,821	6,077	10,675	8,840	6,363
実質収支	4,165	4,279	9,082	6,972	4,872

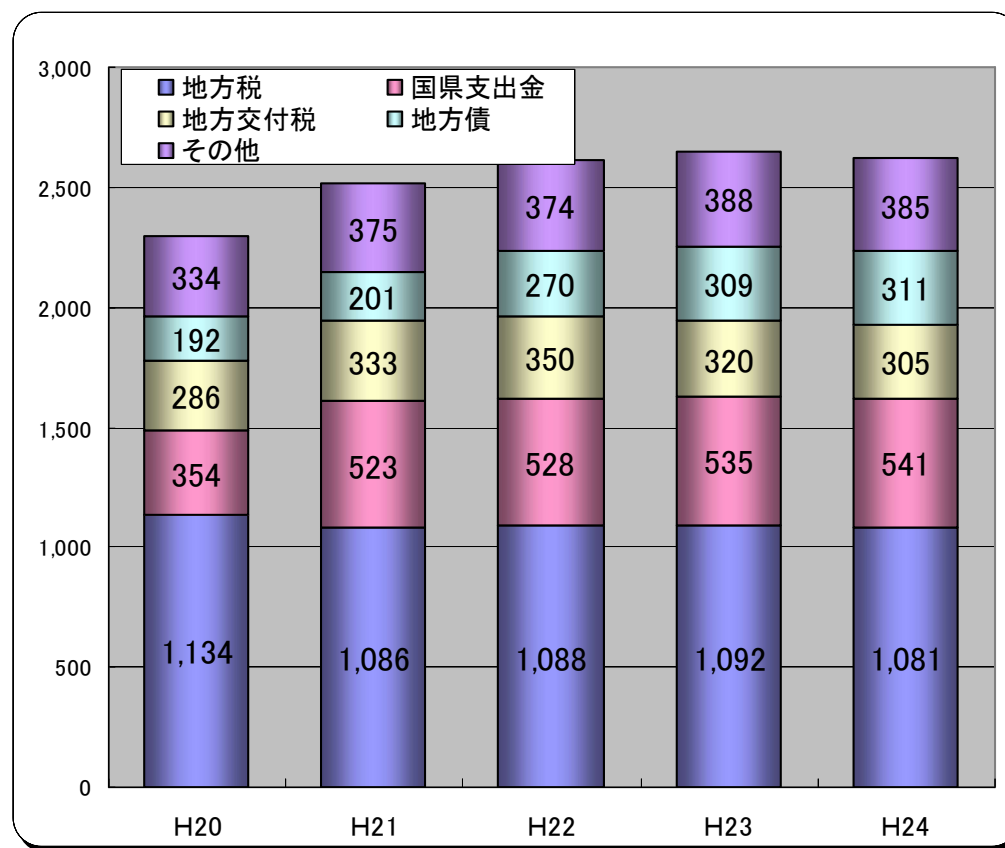
平成24年度普通会計決算(歳入)

■ 地方税収入は1,081億円となり、自主財源比率は49.3%



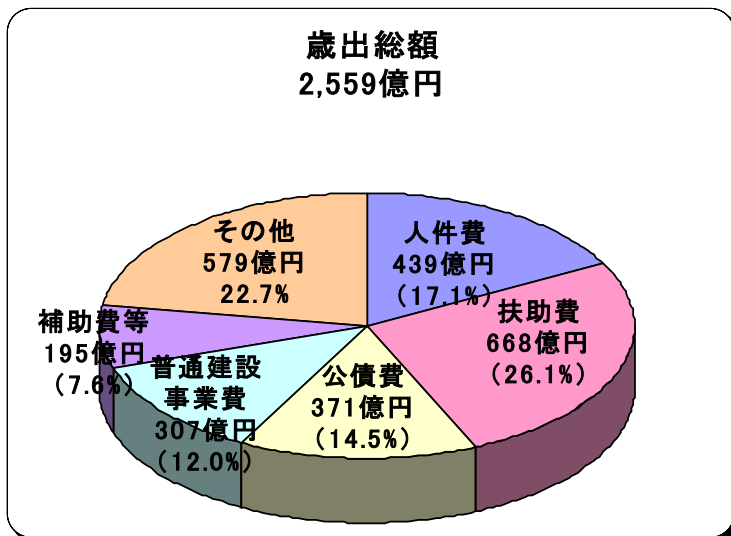
- 地方税は、前年度比1.0%の減（固定資産税の減などによる）
- 地方交付税は、算定方式の変更に伴い普通交付税から臨時財政対策債への振替額が増加したことなどにより4.6%の減
- 国県支出金は、生活保護費、介護基盤緊急整備等臨時特例事業費補助金の増加などにより1.1%の増
- 地方債は、臨時財政対策債の増などにより、0.4%の増

歳入内訳の推移



平成24年度普通会計決算(歳出)

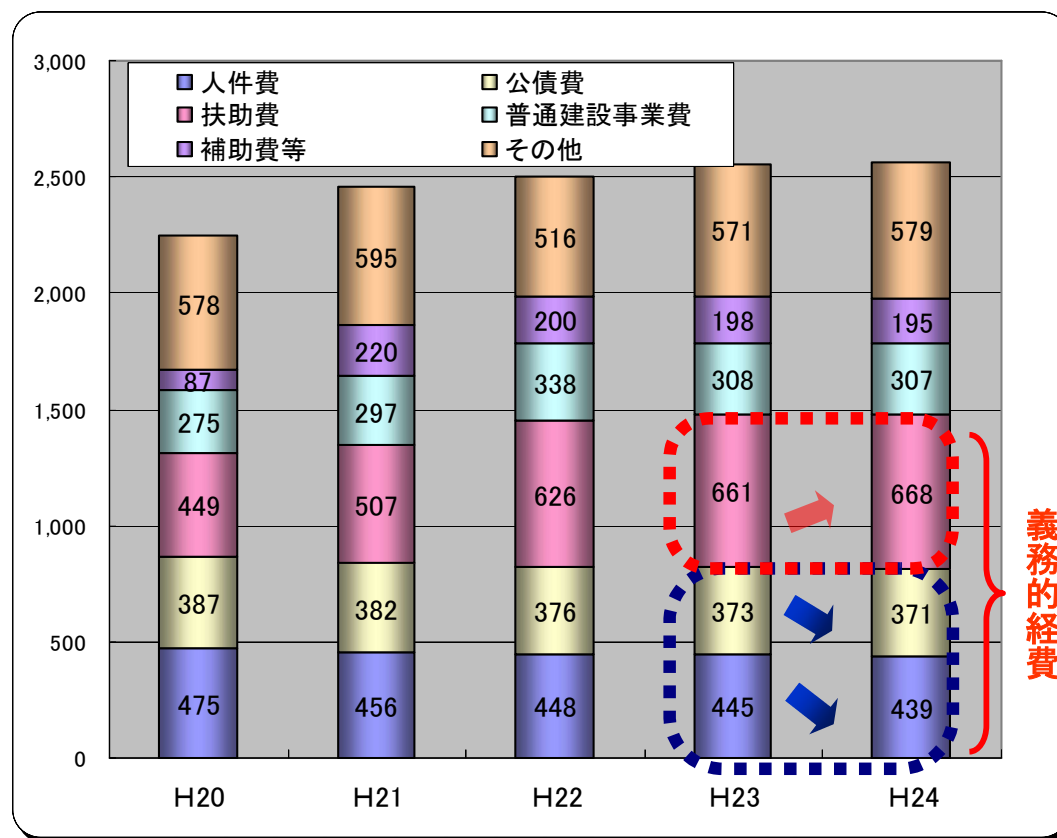
■ 人件費、扶助費、公債費の義務的経費が全体の57.7%を占める



義務的経費のうち

- 扶助費は、生活保護費や障害者自立支援関係経費等の増により前年度比1.1%の増
- 人件費および公債費は、行財政改革などの効果により、それぞれ1.5%、0.4%の減

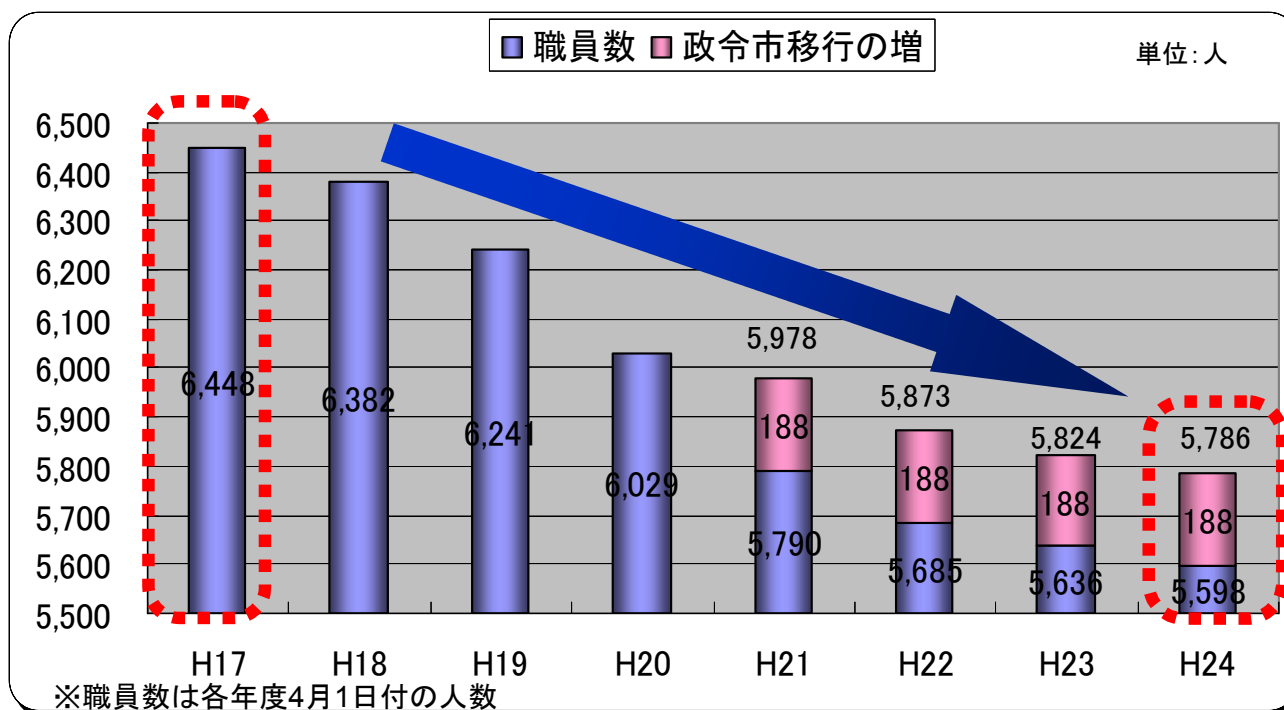
歳出性質別内訳の推移



職員数の削減と適正化

- 職員採用凍結などにより職員数を削減し、人件費総額を抑制

職員数の推移



● 職員数の適正化についてH17に策定した集中改革プランでH22.4までに10%削減を目標し、達成

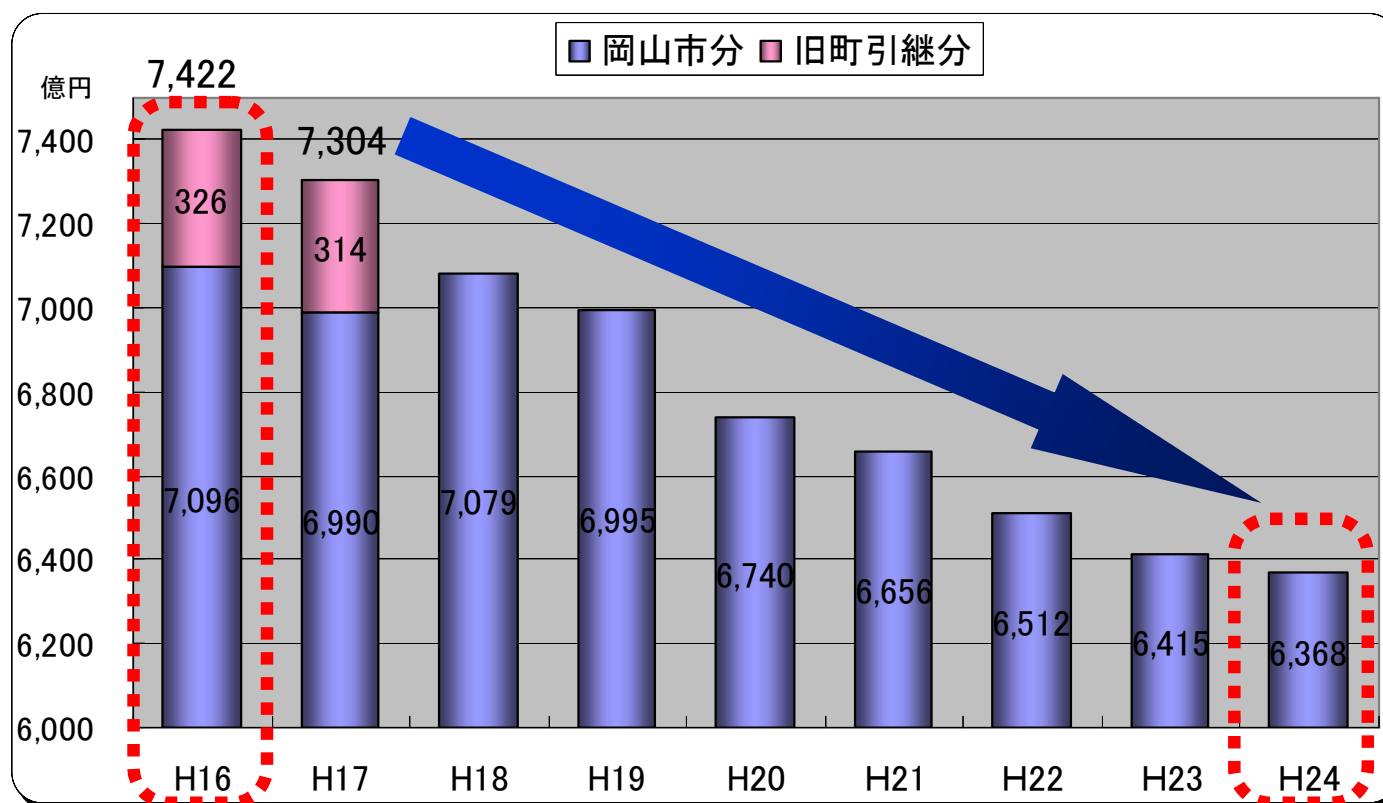
● 政令指定都市移行による権限委譲の換算分188人を除くと850人 (13.2%) の削減

● 今後とも、人事配置の一層の見直しによる効果的・効率的な配置の推進に取り組めます

市全体の借金

- 合併により増加した市全体の借金は行財政改革により大幅減

市債残高及び債務負担行為額の推移



- 借入額の抑制(全額が交付税算入される市債を除き200億円を目途)

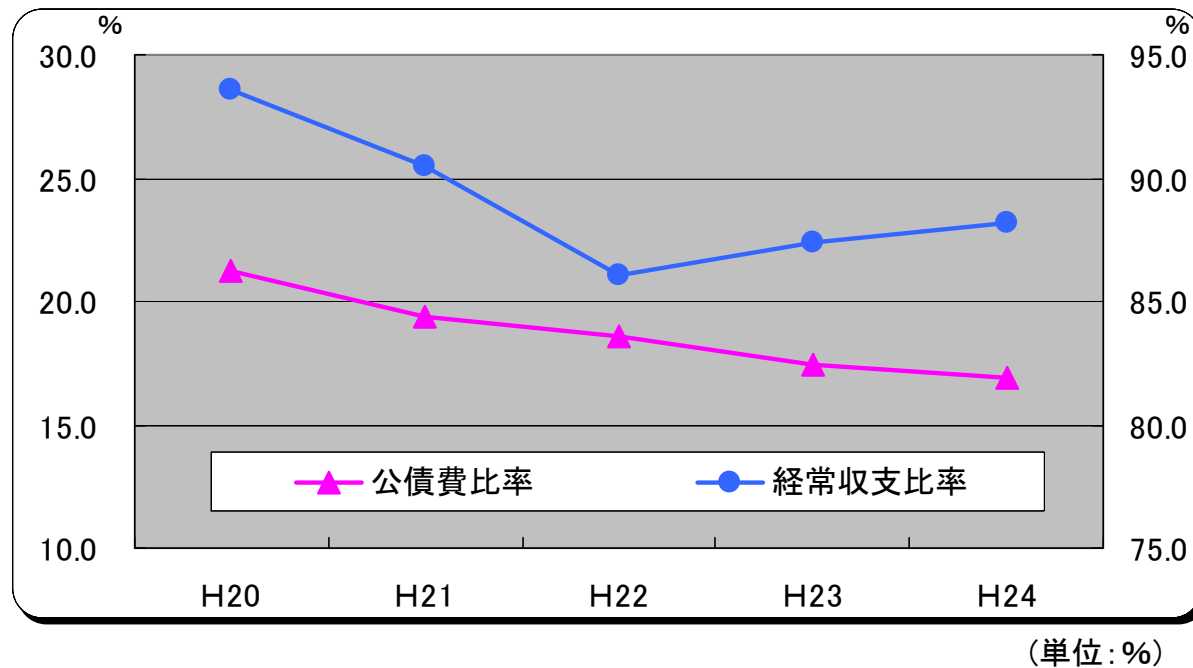
- 土地改良事業の債務負担行為の削減

- 旧岡山市と合併4町から引継いだ借金総額で見ると8年間で**1,054億円**の減少

財政指標の推移

■ 経常収支比率はH17から5.9ポイント改善し88.2%、政令市トップクラス

各種財政指標の推移



【経常収支比率は悪化】

・平成24年度は88.2% (平成23年度87.4%) となり、0.8ポイント悪化。

(参考)

平成17年度は94.1%

【公債費比率は改善】

・平成24年度は16.9% (平成23年度17.4%) となり、0.5ポイント改善。

行財政改革大綱の目標

長期計画編(H17～28)

【経常収支比率】

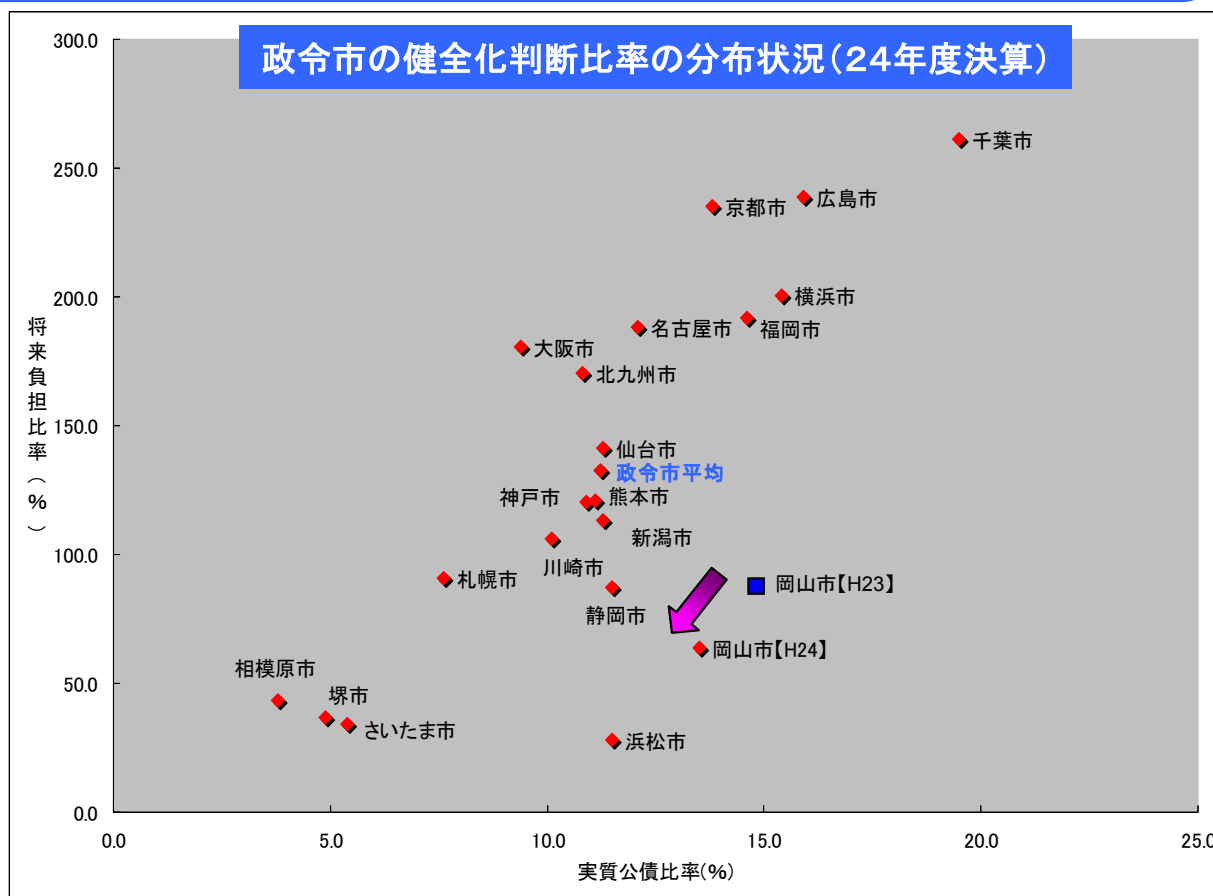
H27決算 政令指定都市上位程度

(H23決算 政令指定都市 1 位)

健全化判断比率等は基準をクリア

- 前年度に引き続き、実質赤字額、連結実質赤字額はなし
- 実質公債費比率は、市債の発行抑制 などにより前年度比1.3ポイント改善
- 将来負担比率は、市の借金の減などにより前年度比23.8ポイント改善

指 標		岡山市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字率	—	11.25%	20%
	連結実質赤字比率	—	16.25%	30%
	実質公債費比率	13.5%	25%	35%
	将来負担率	64.0%	400%	
資金不足比率 (公営企業ごと)		—	(経営健全化基準) 20%	



※実質赤字額、連結実質赤字額がない場合は、「—」を記載しています

平成25年9月30日総務省発表「平成24年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率の概要(速報)」より

都市ビジョン『新・岡山市総合計画』

- 都市の形 水と緑が魅せる心豊かな庭園都市
- 都市の使命 中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市

都市の形

水と緑が魅せる
心豊かな
庭園都市



豊かな水と深い緑という岡山の持つ特性をいかし、そこに暮らす人々が美しく心輝いていく都市を創造していきます。

都市の使命

中四国をつなぐ
総合福祉の
拠点都市



高度な医療、先進的な福祉、伝統と厚みのある教育。これを総合化し、さらに力を高め、中四国、さらに西日本圏域の発展とそこに住む人々の幸せに貢献する都市を創造していきます。

7つの柱でめざす
都市像を実現

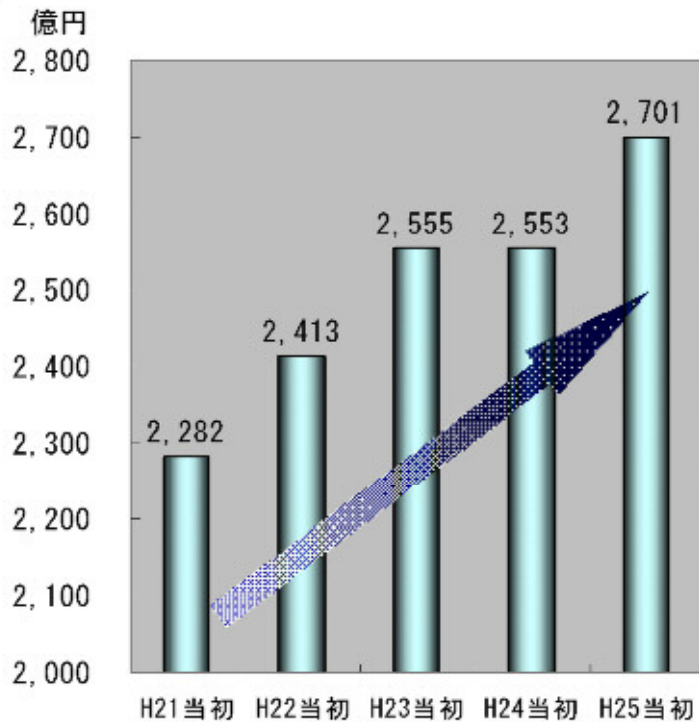
●都市づくりの基本方向●

- ① 多様で豊かな環境をいかす
- ② 街と田園のかたちを明確にする
- ③ 安心していきいきと暮らせる岡山型福祉を組み立てる
- ④ 自立し自己実現できる人間力を育てる
- ⑤ 市民力で新しい岡山をつくる
- ⑥ 岡山の強みをいかした産業を広げる
- ⑦ 文化力で岡山の誇りを高める

平成25年度一般会計当初予算

- 一般会計の当初予算額は2,701億円、前年度比で5.8%増の過去最高額

当初予算規模の推移



予算編成の基本的な考え方

市政の運営に当たっては、行財政改革を推進し、強固な財政基盤を築きつつ、その財政効果も活用して、都市ビジョンに掲げる2つの都市像を具体化していくという方針に基づく。

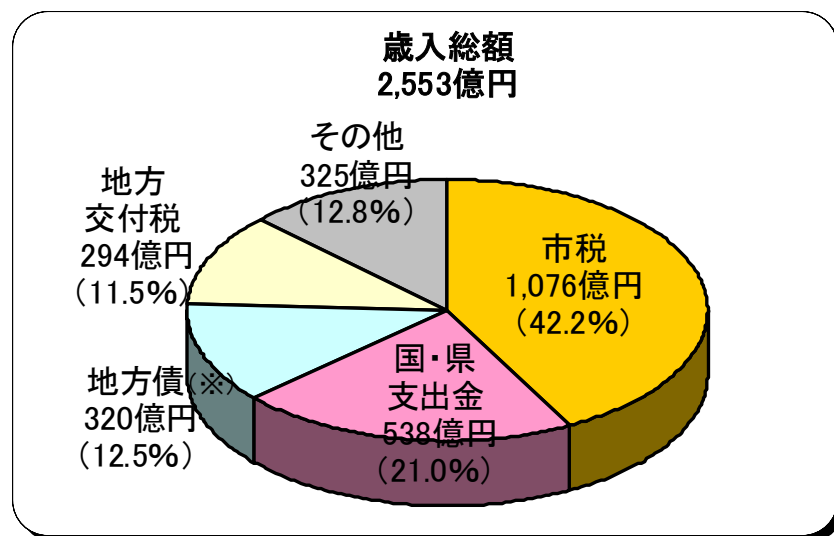
そのうえで、平成25年度予算では、市民の生活を守るため、災害に強い安全・安心なまちづくりや学校園など市有建築物の耐震化の取組を加速するとともに、平成26年度に開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功に向けて、その受入体制を強化しつつ、環境先進都市として地球温暖化対策をさらに推進。

また、区役所等市民サービス拠点の整備や老朽化した施設の再整備に加え、岡山操車場跡地への公園の整備、保健・医療・福祉連携のシステム構築、医療福祉戦略の推進、コンベンション誘致対策の強化や学校問題への対応など、市民の安全・安心な暮らしを守るとともに、よりよき未来を築き、岡山への誇りと愛着を育む取組に重点を置いた編成

歳入予算の内訳

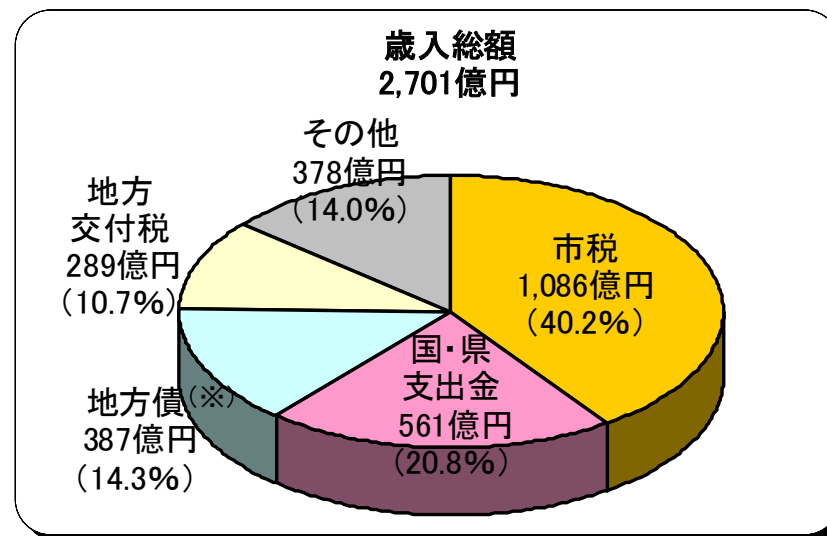
- 市税は、個人市民税の制度改正などにより、対前年度比較で9億円(0.9%)の増
- 国・県支出金は、障害福祉サービスの利用増加、西部リサイクルプラザの整備などにより、同24億円(4.5%)の増
- 市債は、病院事業の地方独立法人化に伴う第三セクター債の活用や耐震化事業の推進になどにより同67億円(20.9%)の増
- 臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は、同3億円(0.6%)の減

平成24年度当初予算



※うち臨時財政対策債は198億円

平成25年度当初予算

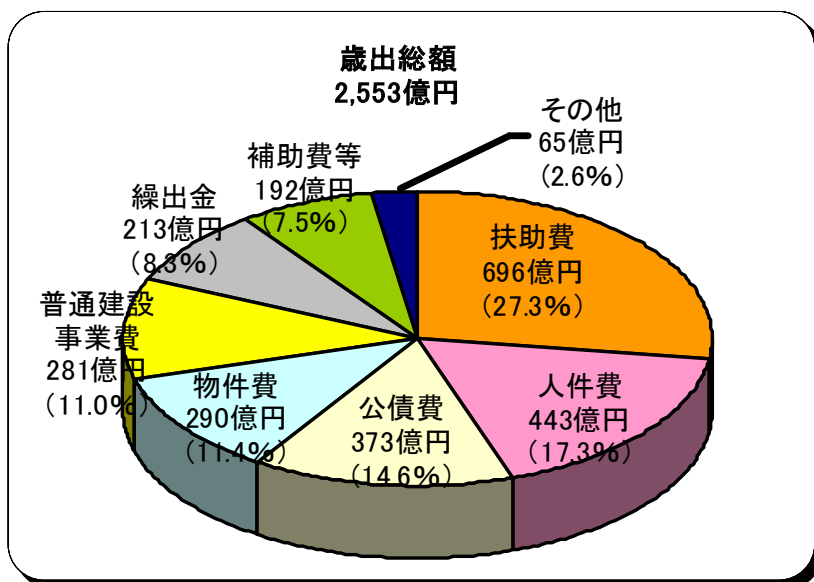


※うち臨時財政対策債200億円

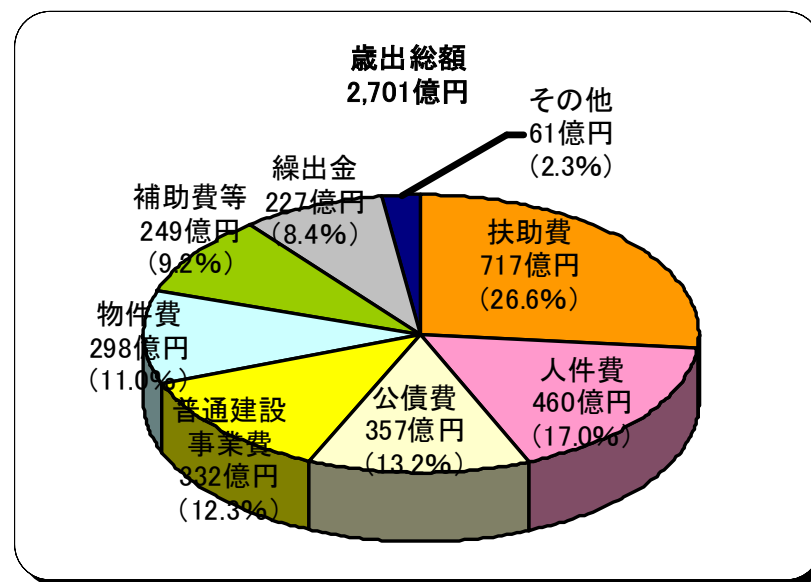
歳出予算〔性質別〕の内訳

- 普通建設事業費は、市有建築物の耐震化、老朽化施設の再整備や市民サービス拠点の整備などの増加により対前年度比較で51億円(18.3%)の増
- 扶助費は、障害福祉サービスの利用や生活保護費の増加などにより同22億円(3.1%)の増
- 物件費は、情報システムの整備経費の増加などにより、同8億円(2.8%)の増
- 公債費は、市債の借入れ抑制などにより同15億円(4.0%)の減

平成24年度当初予算



平成25年度当初予算

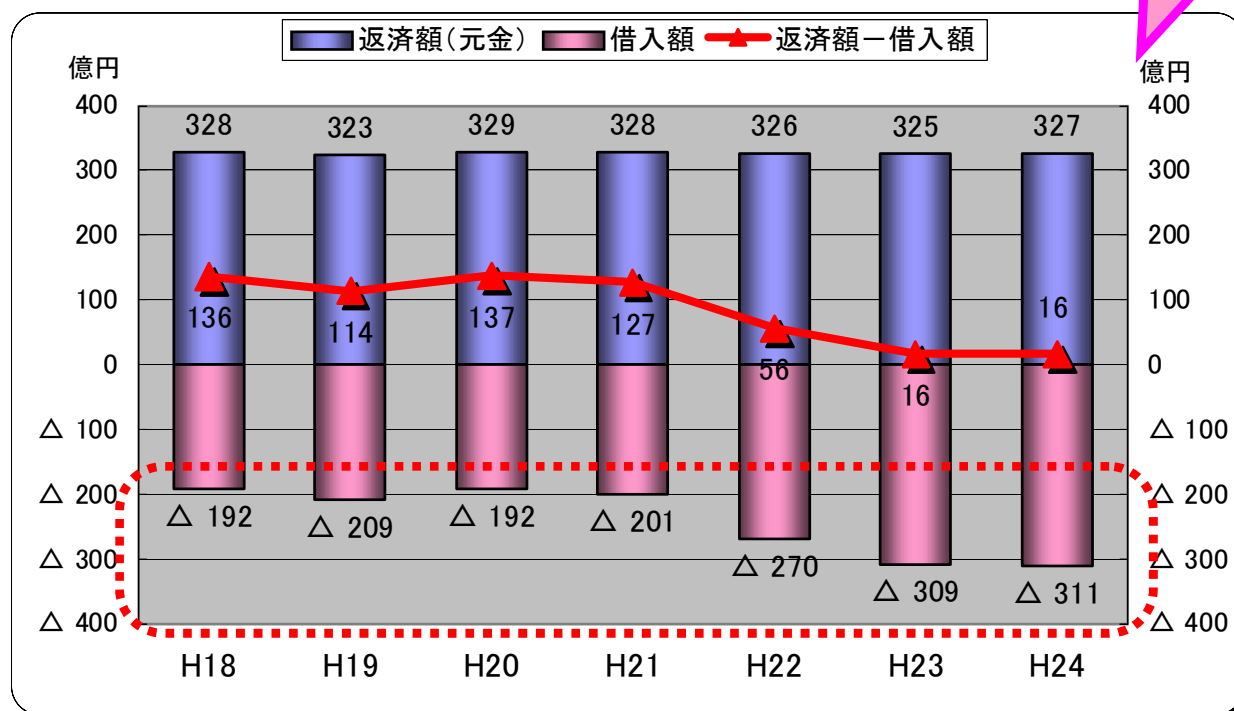


今後の起債運営

- 平成18年度以降は市債の借入額を大幅に抑制
- 政令指定都市移行による事業規模の拡大後も、借入額を抑制予定

市債の借入額と返済額の推移(普通会計)

借入額<元金返済額
市債残高は減少



借入額の抑制

- ◇元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた借入額を200億円程度に抑制
- ◇実質公債費比率は、平成27年度決算で12%程度を目標に起債管理

減債基金の着実な積立

岡山市では、10年後の借入額の半分を借換することを前提として、借入翌年度より年5%ずつ基金を着実に積立てています。

市場公募地方債の発行

■ 平成23年度発行実績

- 起債銘柄
平成23年度第1回岡山市市場公募地方債
- 発行時期
平成24年1月31日
- 発行総額
100億円
- 償還年限
10年(満期一括償還)
- 活用事業
臨時財政対策債

■ 平成24年度発行実績

- 起債銘柄
平成24年度第1回岡山市市場公募地方債
- 発行時期
平成25年1月31日
- 発行総額
100億円
- 償還年限
10年(満期一括償還)
- 活用事業
臨時財政対策債

■ 平成25年度発行予定

- 起債銘柄
平成25年度第1回岡山市市場公募地方債
- 発行時期
平成26年1月
- 発行総額
100億円
- 償還年限
10年(満期一括償還)
- 活用事業
臨時財政対策債

次年度以降も、
よろしくお願いします。



お問い合わせ

岡山市 財政局 財政課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

Tel 086—803—1146

Fax 086—803—1735

E-mail zaiseika@city.okayama.jp

URL <http://www.city.okayama.jp/zaisei/zaisei/index.html>

「伝説の岡山市」スペシャルサイト <http://den-oka.jp/>



うらじゃまつり